

NEC パーソナルコンピュータ PC-8001

N-BASIC プログラミング教本



廣濟堂

目次●PC-8001 N-BASICプログラミング教本

第1章 はじめに

1-1	コンピュータとBASIC	11
1-2	PC-8001のあらまし	14
1-3	キーボードの操作法	16

第2章 プログラミングの基礎

2-1	プログラムとは	24
2-2	プログラムの書き方	27
2-2-1	行の書き方	27
2-2-2	名前のつけ方	27
2-2-3	流れ図の記号	28
2-3	プログラムの作成・実行・保存	29
2-3-1	プログラムを入れる	30
2-3-2	プログラムを見る	31
2-3-3	プログラムを実行させる	31
2-3-4	プログラムを修正する	32
2-3-5	プログラムを保存する	33
2-4	簡単なプログラム例	34

第3章 データの入力

3-1	キー入力の基本形	41
3-2	特殊文字の入力	44
3-3	ファンクションキーの利用	45
3-4	RETURNキーを使わない入力	45
3-5	DATAを読む	47

第4章 処理の流れの制御

4.1	単純な行先指定	52
4.2	複数個の行先指定	53
4.3	条件判断による処理	54
4.3.1	IF～THEN型の処理	54
4.3.2	IF～THNN～ELSE型の処理	56
4.3.3	多重のIFによる処理	57
4.4	論理式	58
4.4.1	データの比較	58
4.4.2	論理演算	59
4.4.3	ビットの論理演算	62
4.5	くり返し処理	63
4.6	サブルーチンによる処理	66
4.7	実行の停止と再開	68
4.8	エラー処理	70

第5章 数値データの演算

5.1	数値データの型	75
5.1.1	変数の型の宣言	76
5.1.2	数値定数の書き方	78
5.2	代入文	80
5.3	式による演算	82
5.4	関数	84
5.4.1	組込み関数	85
5.4.2	自分で作る関数	88

第6章 文字データの処理

6.1	文字～文字コードの変換	92
6.1.1	文字から文字コードへの変換	94
6.1.2	文字コードから文字への変換	94
6.2	文字データ～数値データの変換	95
6.2.1	文字型から数値型への変換	95
6.2.2	数値型から文字型への変換	96

6.3	文字列の長さを求める	97
6.4	文字列の合成	97
6.4.1	文字データの連結	98
6.4.2	同一文字の並びを作る	98
6.4.3	空白の並びを作る	99
6.5	文字列の分解	100
6.5.1	文字列の一部分を取出す	100
6.5.2	文字列の一部分を置き換える	101
6.5.3	文字列の中の文字を探す	102
6.6	文字データの比較	103
6.7	日付と時刻	104

第7章 配列による処理

7.1	配列の宣言	108
7.1.1	1次元の配列の宣言	108
7.1.2	多次元の配列の宣言	109
7.1.3	大きさを変えられる配列の宣言	110
7.1.4	配列宣言の省略	111
7.2	配列宣言の取消し	111
7.3	配列に対するくり返し処理	112
7.4	配列のデータの並べ替え	115
7.4.1	数値データの並べ替え	115
7.4.2	文字データの並べ替え	116

第8章 画面への出力

8.1	画面の表示状態の指定	120
8.1.1	WIDTH文	121
8.1.2	CONSOLE文	123
8.1.3	COLOR文	125
8.1.4	LINE文	128
8.2	数値・文字の出力	129
8.2.1	画面出力の基本形	129
8.2.2	表示位置の指定	131

11.3.2	シーケンシャルファイルの新規作成	173
11.3.3	シーケンシャルファイルの読み込み	174
11.3.4	シーケンシャルファイルへのデータの追加	175
11.4	ランダムファイルの使い方	175
11.4.1	ランダムファイルのあらまし	176
11.4.2	ランダムファイルの新規作成	180
11.4.3	ランダムファイルへのレコードの追加	181
11.4.4	ランダムファイルの読み込み	182
11.4.5	ランダムファイルのレコードの書き換え	182
11.5	ファイル名なしの読み書き	183
11.6	ディスクに関するその他の命令	184

第12章 プログラムの組み方

12.1	プログラム作成の手順	189
12.2	プログラム作成上のくふう	191

第13章 応用プログラム作成の手引

13.1	ABC分析プログラム	196
13.1.1	機器構成	196
13.1.2	処理の条件	196
13.1.3	処理の内容と流れ	199
13.1.4	プログラム	200
13.2	給与計算システム	202
13.2.1	機器構成	202
13.2.2	基本機能	203
13.2.3	プログラム構成	203
13.2.4	システムの流れ	208
13.2.5	ファイルデザイン	209
13.2.6	給与マスタ管理プログラム (R 10)	213
13.2.7	給与マスター一覧表作成プログラム (R 20)	216
13.2.8	給与明細ファイル作成プログラム (R 30)	218
13.3	在庫管理システム	219
13.3.1	基本機能	219

8.3	数値・文字の編集	134
8.4	ドットの出力	138
8.5	直線や箱を書く	139
8.6	画面データの記憶と再出力	140
8.6.1	キャラクタ表示の記憶と再出力	141
8.6.2	グラフィック表示の記憶と再出力	143
8.6.3	文字・ドット混合表示の記憶と再出力	145
8.7	画面表示における注意事項	146

第9章 プリンタによる印字

9.1	プリンタのあらまし	149
9.2	数値・文字の印字	150
9.2.1	印字の基本形	150
9.2.2	数値・文字の編集	151
9.2.3	文字サイズの指定	152
9.3	印字用紙の行送り	153

第10章 カセットテープの使い方

10.1	テープへのデータの書き込み	155
10.2	テープからのデータの読み込み	157

第11章 ディスクファイルの使い方

11.1	ディスクファイルのあらまし	162
11.1.1	ディスクファイルの構造	162
11.1.2	ディスクファイル使用の準備	164
11.1.3	ディスク使用の開始宣言と終了宣言	165
11.2	プログラムのセーブとロード	166
11.2.1	プログラムのセーブ	166
11.2.2	プログラムのロード	167
11.2.3	プログラムの実行	167
11.3	シニケンシカルファイルの使い方	169
11.3.1	シニケンシカルファイルのあらまし	169

13.3.2	プログラム構成	219
13.3.3	ファイルデザイン	221
13.4	統計計算プログラム	224
13.4.1	平均値・標準偏差の計算	224
13.4.2	得点のランク別集計	227
13.4.3	相関係数と回帰直線	228
	エラーメッセージ表	231
	(索引)	235